

平成 26 年度北九州市交通安全対策会議議事録

平成 26 年 7 月 31 日（木）10:00～11:00

小倉リーセントホテル 2 階 福智の間

- 1 開会 事務局長（安全・安心推進部長）
- 2 副市長挨拶
- 3 平成 26 年度北九州交通安全実施計画（案）について
事務局（安全・安心都市整備課長）
- 4 審議 審議の内容は下記審議記録のとおり
委員の意見を踏まえ、平成 26 年度の交通安全対策会議事業を実施していくことで、
全会了承。
- 5 閉会 事務局長（安全・安心推進部長）

審議記録（要旨）

○通学路の緊急合同点検の対応について

【委員質問】

平成 24 年度に実施した通学路の緊急合同点検の対応（要対策箇所）についてであるが、まだ未対策箇所が残っている。中には乗用車が離合できないようなところを小学校低学年が歩行しているという状況もある。予算にも限りがあると思うが、子供の安全・安全を 1 番に考え、早急な対応をお願いしたい。

【事務局回答】

通学路の緊急合同点検において、対策が必要と判断された 579 箇所については、最優先で事業を進めてきた。現在 492 箇所対策が完了しているが、残りは用地買収等一定期間が必要な箇所となっている。

今後も、関係機関や地域と連携しながら、残る対策箇所 87 箇所の対応を鋭意進めていきたい。

○自転車の保険加入促進について

【委員質問】

自転車保険に入るよう、取り組みを進めていただきたい。

【事務局回答】

（安全・安心条例には、自転車の安全利用の推進も明記した。）

条例の制定を機に自転車の安全利用に関する取り組みを強化する。自転車保険の加入促進についても、現在、保険加入の必要性を説明するパンフレットも作成中である。今後は、これらも活用しながら教育委員会をはじめ各種団体との連携を図り自転車保険の加入促進に努めていきたい。

○大型トラック等を都市高速道路に乗せる政策

【委員質問】

大型トラックやトレーラーが歩行者のいない都市高速道路へ乗りやすくなるような政策（料金体系等）を考えてほしい。

【事務局回答】

要望として承る。

○自転車について

【委員質問】

自転車で特に心配なのは、ヘルメットを被っていないということ。啓発をお願いしたい。また、「チャレンジ！チャリマスター」の検定で、中学1年生対象という理由があるのか。

【事務局回答】

現在、作成中であるパンフレットにヘルメットの着用も掲載し、啓発を行うこととしている。自転車のルール・マナーアップは子どもの頃からの教育が重要である。このため、本市では、平成18年度から自転車免許証制度（小学校高学年が対象）をしているが、子どもの頃からの教育活動をさらに強化するため、「チャレンジ！チャリマスター」は、中学1年生を対象とした。

○高齢者の事故について

【委員質問】

高齢者（死亡）事故で一番多いのは、道路の横断時か。バリアフリー対応型信号機とあるが、具体的にはどういうものなのか、またどれくらいあるのか。

【事務局回答】

高齢者死亡事故13人のうち道路横断中が10人。このうち7人は横断歩道以外を通行中に事故に遭っている。このため、調剤薬局と連携したワンポイントアドバイス事業では、道路横断中の注意を促す内容をうちわに記載し配布している。また、高齢者団体への出前講演や高齢者宅への訪問活動等も通じて高齢者の交通事故防止を呼びかけている。バリアフリー対応型信号機は、道路横断の青時間を長くする機能が付加された信号機等で平成25年度は市内に37ヶ所整備された。

○道路照明灯について

【委員質問】

横断歩道や交差点部で道路が暗い。もう少し明るくしてほしい。

【事務局回答】

交差点や横断歩道がある箇所などは、必要により道路照明灯を設置するなど交通安全対策を進めているが、個別に要望箇所があれば、道路管理者に伝えたい。